

【 4 Nations Cup 2018 】

2018年12月28日～12月29日 開催地:ポーランド

試合結果報告 12月28日 (金)

JPN	VS	POL
13	前半	11
12	後半	14
25	合計	25
3	7mTC	4

個人得点

名前	得点	合計
1 佐々木 亮輔		0
7 宮崎 大輔	2	2
10 杉岡 尚樹		0
11 東長濱 秀希	1	1
13 笠原 謙哉	1	1
15 部井久 アダム 勇樹	1	1
16 甲斐 昭人		0
18 成田 幸平		0
19 徳田 新之介	2	2
20 渡部 仁	2	2
21 土井 レミイ 杏利	2	2
24 信太 弘樹	3	3
25 元木 博紀	1	1
26 久保 侑生		0
27 玉川 裕康	1	1
29 岡元 竜生		0
31 吉野 樹	5	5
33 東江 雄斗	4	4
44 門山 哲也		0
		25

戦評

世界選手権前ポーランドでの4nations cup初戦は地元ポーランド代表との試合となった。  
序盤なかなかリズムに乗れない流れの中、7番SZCZESNYや33番PACZKOWSKIに得点を許しながらも、宮崎や吉野らが応戦。徐々にディフェンスが機能し始め、GK久保とのコンビネーションが整い、失点を抑えて前半は13対11のリードで折り返すことができた。  
後半もスタートから堅い守りや信太、土井らの速攻で中盤までに19対14とリードを広げる。しかし、ポーランドも21番SYPRZAKのポストプレーや7番SZCZESNYの1対1で日本ディフェンスを崩しにかかり、日本の退場や7mTを与える場面が多い展開となった。完全アウェーの会場の雰囲気もあり、終盤には逆にリードを奪われるが、GK甲斐の好セーブから東江のカットインで25対25の同点に追いつき、7mスローコンテストとなった。  
結果として7mスローコンテストでは3対4で敗れはしたものの、積み上げてきたトレーニング内容を出し切ることに集中した日本が、伝統国であるポーランド相手に素晴らしい戦いを見せる結果となった。

報告記入者 :

舎利弗 学